

令和6年度第2回障害保健福祉施策連絡会会議録

1 開催日時

令和7年3月5日（水） 午前10時から午前11時30分まで

2 開催方法

対面（傍聴のみオンライン）

3 出席状況

（出席団体および出席者氏名）

浜松市浜松手をつなぐ育成会 伊藤幸枝 河口清美 田中恵
特定非営利活動法人浜松地区肢体不自由児親の会 里あゆ子
特定非営利活動法人浜松地区精神保健福祉会明生会 中村卓広
浜松市視覚障害者福祉協会 赤堀奈津子
アクティブ 奈良志保 浅井陽子
浜松の福祉を考える会 村松良子 鈴木亜矢子
浜松ろうあ協会 伊藤行夫 堀尾喜子
ぞうさんの会 清水恵美
静岡県重症心身障害児（者）を守る会 白柳圭子

浜松市障がい者基幹相談支援センター 後藤翔一郎

（欠席団体）

浜松浜北手をつなぐ育成会（傍聴にて参加）
浜松市身体障害者福祉協議会

（事務局 障害保健福祉課）

榊原課長、稲葉担当課長、柴田課長補佐、飯塚G長、吉田G長、大庭正G長、大庭靖G長、
岡田G長、内藤G長、企画相談G（白柳・鈴木）

4 議事内容

（1）意見交換

5 記録の方法

発言者の要点記録

6 会議記録

1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 意見交換

<手をつなぐ育成会 伊藤氏>

- ・個別避難計画作成について、知的障害者は作成対象から外れているため、対象について見直しを行っていただきたい。

<事務局>

- ・個別避難計画の作成は、まずは優先度の高い方から作成を行っていく。今後、作成を進めながら、作成対象の範囲について検討していく。

<手をつなぐ育成会 伊藤氏>

- ・エリア連絡会の構成員について、知的障害者だけでなく、精神や身体障害の方の団体も構成員に加えて、当事者からの意見を聞けるような体制作りをしてほしい。

<事務局>

- ・いただいた意見を各エリア連絡会に連携させていただく。エリアの構成員の人数の兼ね合いから、構成員としてではなく、他の機会で当事者の方からの意見を聞けるような場を設ける等、どのような手法がとれるか検討していく。

<手をつなぐ育成会 伊藤氏>

- ・外出支援のバスタクシー券の助成について、自動車税の減免を受けていると、助成の対象から外れてしまう。対象について見直しをしてほしい。また、施設通所支援についても徒歩の方は対象から外れているため、不公平であると感じている。対象について検討いただきたい。

<事務局>

- ・自動車税の減免として公的な支援を受けている、家族等により移動手段が確保されているため、対象外となったのが基本的な考え方である。いただいた意見を踏まえ、助成対象について検討していきたい。施設通所支援についても手続きを含め、いただいた意見をもとに検討していく。

<手をつなぐ育成会 伊藤氏>

- ・補装具について、イヤーマフやデジタル耳栓などの器具も助成対象としてほしい

<事務局>

- ・日常生活用具の追加については、いただいた意見も踏まえ見直しを検討していく。

<手をつなぐ育成会 伊藤氏>

- ・令和6年度の制度改正から、入所施設やグループホームの意向調査に利用者の意思確認をするよう規定されたが、浜松市はどのように取り組んでいるか。また、知的障害の方についての意思確認はどのように行っているか。

<事務局>

- ・地域移行についての意向確認については、現時点で、意向確認担当者を選定いただいている段階である。実際の意向確認については、施設で検討し、個別支援計画等に反映していく流れとなる見込みである。

<ろうあ協会 伊藤氏>

- ・デパート等で手話通訳者ありと書かれているが、配備されていないことがあった。

当該事案について、行政からも対応していただきたい。

<事務局>

- ・表示について誤っている場合は、見つけ次第ご連絡いただきたい。

<ろうあ協会 伊藤氏>

- ・障害者手帳に「更生」という文字がつかわれている。他利用者の意見も聞いた上で修正いただきたい。

<事務局>

- ・変更可能かを含めて、確認し、検討する。

<ろうあ協会 堀尾氏>

- ・高齢者施設等に、ろうあ者が集まれる場が作れるように行政側からも支援いただきたい。

<事務局>

- ・市として対応できることがないか検討する。

<ろうあ協会 堀尾氏>

- ・能登の災害時に手話通訳の方が中々捕まらず、避難所において苦勞したと聞いた。浜松市でも配慮できるよう体制を整えていただきたい。

<事務局>

- ・いただいた意見を踏まえ、どう対応すべきか検討する。

<明生会 中村氏>

- ・移動支援の交通への助成について申請すれば 7000 円の助成があるが、金額として少ないため、検討していただきたい。

<事務局>

- ・今後、見直しを行う際にいただいた意見を元に検討していく。

<明生会 中村氏>

- ・B 型事業所の作業所との横のつながりが少なく、情報交換できる場を増やしてほしい福祉事業所フェアのようなイベントを小規模でもいいので増やしてほしい。

<事務局>

- ・市として企画しているのは福祉事象所フェアとなる。

<明生会 中村氏>

- ・就労選択支援についてわかりやすく説明いただきたい。特別支援学校でもどのように取り扱うか。

<事務局>

- ・浜松市の就労部会において、どのような形でアセスメントをとっていくか調整している段階である。また、特別支援学校からの移行についても意見を聞きながら調整している。

<手をつなぐ育成会 伊藤氏>

- ・発達障害や知的障害の方で社会とのつながりを持っていない社会とのつながりを持ってもらいたい。

<事務局>

- ・市の中でも他部署に意見を伺いながら何ができるか検討していく。また、他市町村での取り組み等について情報があれば提供いただきたい。

<福祉を考える会 村松氏>

- ・事前質問について、強度行動障害の方について、将来への不安、困難感がある。今後の進路、支援についてどのように進めていけばいいか。また、強度行動障害の方の生活の場について浜松市はどのように検討しているか。また、強度行動障害に関する人材育成について当事者の意見も踏まえて進めていただきたい。

<事務局>

- ・こども部会、生活部会で強度行動障害の方についての検討を行っているが、次年度以降、強度行動障害に関するプロジェクトを立ち上げ、検討していく。また、その際には、当事者の方の意見を聞く場を検討していく予定であり、地域（様々な支援者・複数施設でのネットワーク等）で支援できるよう検討していく。

<ぞうさんの会 清水氏>

- ・補装具の購入について、他市町村よりも時間がかかっている。申請から時間がかかるので、早く対応してもらえよう改善いただきたい。

<事務局>

- ・時間がかかる理由としては、申請の際に意見書、処方箋が必要になることが原因として考えられる。社会福祉課とも連携して、スムーズな手続きとなるよう検討していく。個別ケースにより時間がかかっている事例もあるため、事例を見つけたらご連絡いただければ、個別ケースについても対応する。

<アクティブ 浅井氏>

- ・サポートかけはしシートについて、浜松市ホームページに記載いただき周知いただきたい。

<事務局>

- ・いただいた意見を元に検討していく。

<ろうあ協会 堀尾氏>

- ・ろうあ者から長期連休の時に救急車がなかなかこないという事例を聞いた。対応できるよう長期連休の際には事前に支援をいただきたい。

<事務局>

- ・長期連休中の救急の出動態勢は、市域全体的な要因の可能性がある。なお、ろうあ者への消防局への通報サービスについては、FAX119 やメール 119 システムを活用いただきたい。